

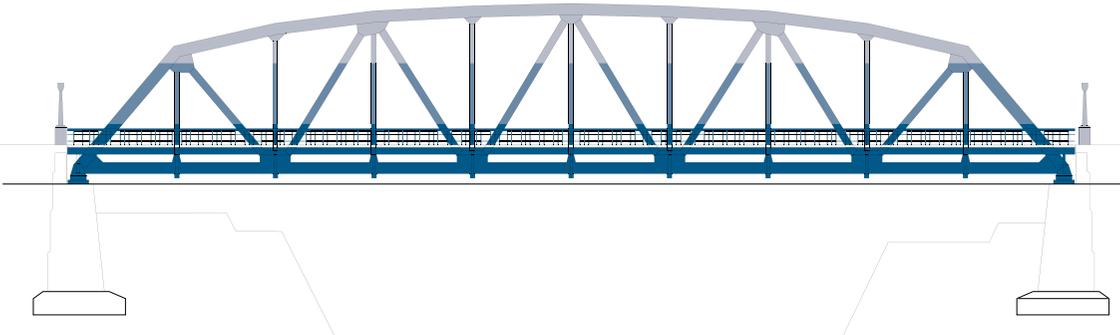
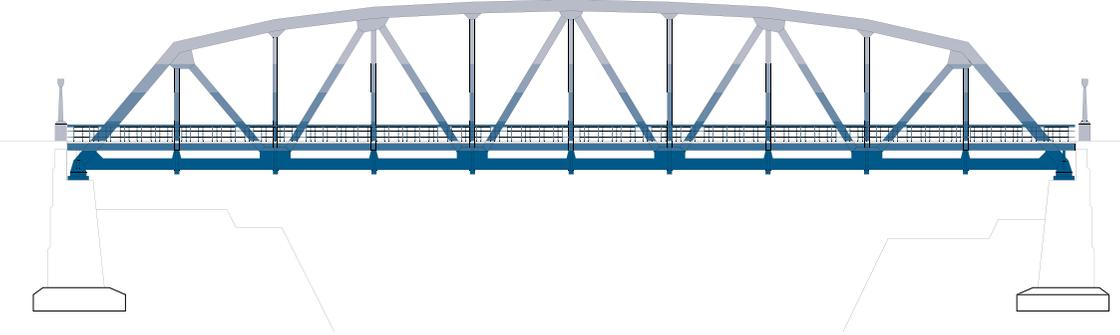
グラデーションを構成する色彩の段階

前回の委員会において「市民に浸透しつつあるグラデーションの技法を踏襲する」ことが承認されました。このグラデーションを構成する色彩の段階については、現状では5段階となっておりますが、色の变化を少なくした場合や、逆に多くした場合について検討を行いました。右記にその結果を示します。

これにより、現状でも採用されている「5段階」でのグラデーションが最も妥当であると考えます。



現在のグラデーション

グラデーションの色彩の段階	側面図
3段階とした場合	<ul style="list-style-type: none"> ・段階が少ないため、色彩の変化が大きくなるためグラデーションとは言い難い。 ・単なる色の塗り分けになってしまう。 
5段階とした場合	<ul style="list-style-type: none"> ・3段階に比べ、徐々に色彩が変化していきグラデーションを構成している。 ・現状と同等な色彩の段階となっており、適度なグラデーションが構成され、塗料の色の管理も問題無く行えることから、最も妥当と考えられる。 
5段階以上とした場合	<ul style="list-style-type: none"> ・段階が増えれば増えるほど色彩の変化が細くなり、より自然なグラデーションとなる。 ・ただし、技術的には塗料の色の管理が困難となり、作業的にも効率が低下する。

グラデーション配色詳細検討

委員会で概ね方向性が出された案を「基本案」（下写真参照）とし、これに対し、これまでの検討結果を踏まえ、詳細検討として更に「追加案」を作成しました。

基本案および追加案の考え方は、以下の通りです。

基本案：委員会で概ね方向性が出された案

検討案(1)：基本案をベースに、より彩度を下げた案

検討案(2)：側縦桁に配色されている色に、日本の伝統色を用いた案

各案毎にそれぞれ、前回委員会で意見のありました色相（青緑系・青系・紫系の3パターン）を当てはめ、合計9案のグラデーション配色案を作成しました。

なお、各案のフォトモンタージュの比較について、次ページ以降に整理しました。

	基本案			検討案(1) (彩度を下げる)			検討案(2) (日本の伝統色(全体低彩度))		
	第1案	第2案	第3案	第4案	第5案	第6案	第7案	第8案	第9案
	青緑系	青系(現況)	紫系	青緑系	青系	紫系	青緑系	青系	紫系
H	10BG	10B	10P	10BG	10B	10P	-	-	-
①	7.5/1.0	7.5/1.0	7.5/1.0	8.0/1.0	8.0/1.0	8.0/1.0	0.4G 7.5/0.5	5.8B 7.5/0.5	3.2P 7.5/0.5
②	6.5/2.5	6.5/2.5	6.5/2.5	7.0/1.5	7.0/1.5	7.0/1.5	0.4G 7.0/1.0	5.8B 7.0/1.0	3.2P 7.0/1.0
③	5.5/4.0	5.5/4.0	5.5/4.0	6.0/2.0	6.0/2.0	6.0/2.0	0.4G 6.5/1.0	5.8B 6.5/1.0	3.2P 6.5/1.0
④	4.5/6.0	4.5/6.0	4.5/6.0	5.0/2.5	5.0/2.5	5.0/2.5	0.4G 6.0/1.0	5.8B 6.0/1.0	3.2P 6.0/1.0
⑤	3.5/8.0	3.5/8.0	3.5/8.0	4.0/3.0	4.0/3.0	4.0/3.0	利休鼠 0.4G 5.2/1.3	浅葱鼠 5.8B 6.0/2.4	鳩羽鼠 3.2P 4.9/1.3
備考	<ul style="list-style-type: none"> 傾きをきつくし、彩度の変化を小さくする 明度、彩度を今回委員会の検討結果に割り当てる(明度=5以上を目安、彩度=3以下) 						<ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統色を⑤にする 上方に明度を変えていくことで、グラデーションを表現 		



基本案/第1案：青緑系グラデーション



基本案/第2案：青系グラデーション(現況と同色に塗り替え)



基本案/第3案：紫系グラデーション

	青 緑 系	青 系	紫 系
基本案			
検討案（1） （彩度を低く）			
検討案（2） （日本の伝統色）			

	青 緑 系	青 系	紫 系
基本案			
検討案（１） （彩度を低く）			
検討案（２） （日本の伝統色）			

	青 緑 系	青 系	紫 系
基本案			
検討案（1） （彩度を低く）			
検討案（2） （日本の伝統色）			

	第 1 案（基本案）	第 4 案（検討案(1)）	第 7 案（検討案(2)）
視点① 上流から下流側を見る			
視点② 下流から上流側を見る			
視点③ 歩行者からの視点			

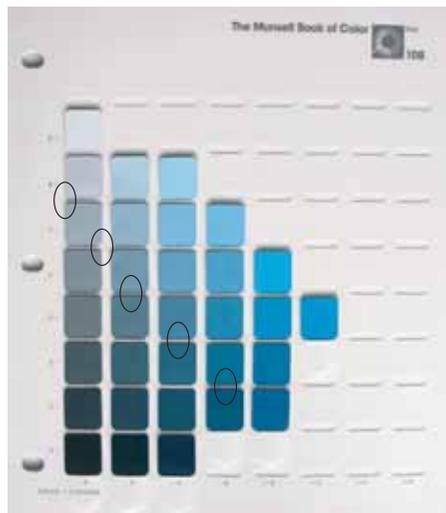
	第 2 案（基本案）	第 5 案（検討案(1)）	第 8 案（検討案(2)）
視点① 上流から下流側を見る			
視点② 下流から上流側を見る			
視点③ 歩行者からの視点			

	第 3 案（基本案）	第 6 案（検討案(1)）	第 9 案（検討案(2)）
視点① 上流から下流側を見る			
視点② 下流から上流側を見る			
視点③ 歩行者からの視点			

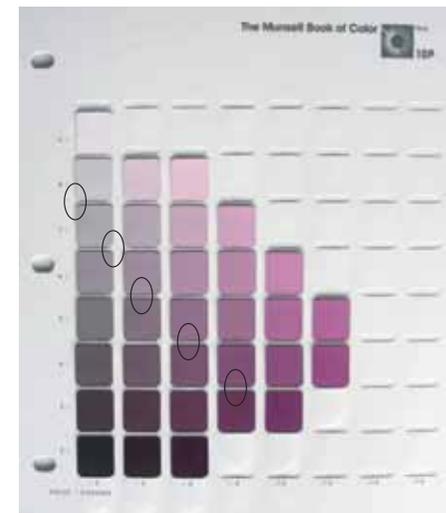
第1案



第2案



第3案



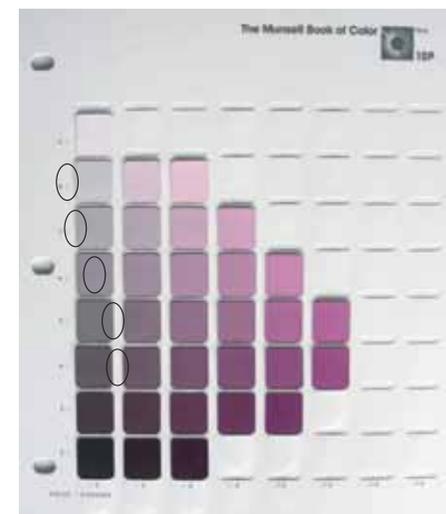
第4案

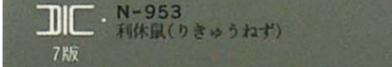
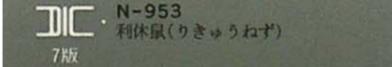
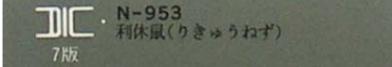
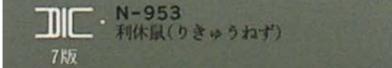
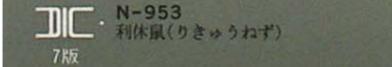
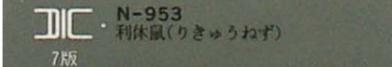
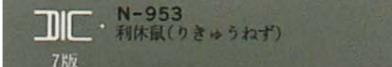
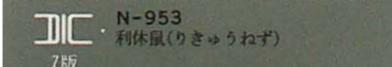
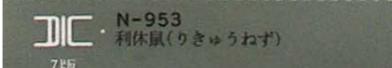
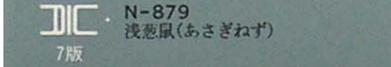
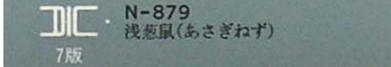
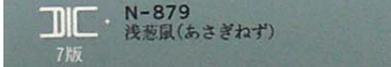
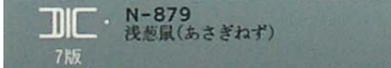
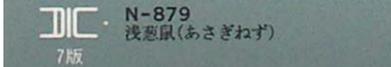
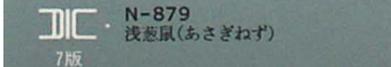
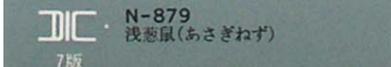
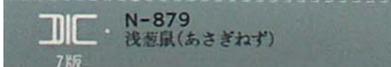
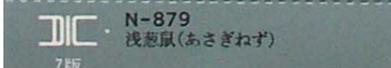
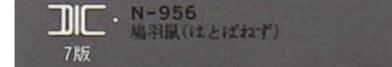
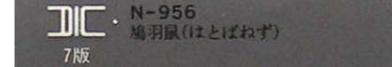
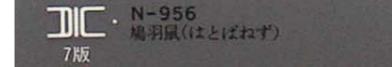
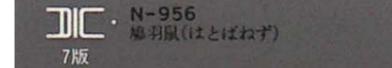
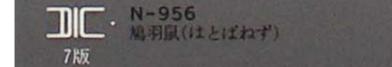
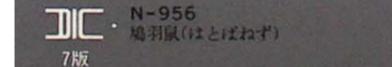
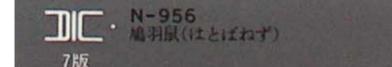
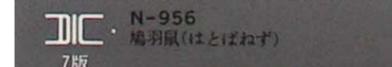
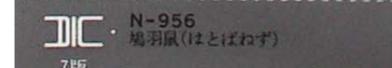


第5案



第6案



第7案 (利休鼠)	第8案 (浅葱鼠)	第9案 (鳩羽鼠)
<p>N-953 Fグロスメジューム 79.6 " 85墨 8.0 " 58原色藍 7.7 " 48黄 4.0 " 14紅 0.7</p> <p>N-953 利休鼠(りきゅうねず) グリーンッシュ グレイ</p> <p>利休は葉茶の緑みを形容したもので、緑みがかかったグレイをいう。日本のような湿度の多い気候のところでは霧や霞(もや)がちこめ、草木の緑も遠くからはこのような色に見えることがある。</p> <p> N-953 利休鼠(りきゅうねず) 7版</p> <p> N-953 利休鼠(りきゅうねず) 7版</p> <p> N-953 利休鼠(りきゅうねず) 7版</p> <p> N-953 利休鼠(りきゅうねず) 7版</p> <p> N-953 利休鼠(りきゅうねず) 7版</p> <p> N-953 利休鼠(りきゅうねず) 7版</p> <p> N-953 利休鼠(りきゅうねず) 7版</p> <p> N-953 利休鼠(りきゅうねず) 7版</p> <p> N-953 利休鼠(りきゅうねず) 7版</p>	<p>N-879 Fグロスメジューム 80.4 " 58原色藍 10.0 " 48黄 3.4 " 85墨 3.3 " 14紅 2.9</p> <p>N-879 浅葱鼠(あさぎねず) グレイッシュ スカイ</p> <p>錆浅葱(さびあさぎ)より更に彩度が低く、わずかに浅葱がかかった灰色に近い色をいう。</p> <p> N-879 浅葱鼠(あさぎねず) 7版</p> <p> N-879 浅葱鼠(あさぎねず) 7版</p> <p> N-879 浅葱鼠(あさぎねず) 7版</p> <p> N-879 浅葱鼠(あさぎねず) 7版</p> <p> N-879 浅葱鼠(あさぎねず) 7版</p> <p> N-879 浅葱鼠(あさぎねず) 7版</p> <p> N-879 浅葱鼠(あさぎねず) 7版</p> <p> N-879 浅葱鼠(あさぎねず) 7版</p> <p> N-879 浅葱鼠(あさぎねず) 7版</p>	<p>N-956 Fグロスメジューム 73.8 " 58原色藍 13.3 " 28金赤 6.9 " 85墨 6.0</p> <p>N-956 鳩羽鼠(はとばねず) パーブリッシュ グレイ</p> <p>鳩羽紫も彩度の低い色だが、鳩羽鼠はそれより更に彩度の低い、かすかに紫みがかかったグレイをいう。</p> <p> N-956 鳩羽鼠(はとばねず) 7版</p> <p> N-956 鳩羽鼠(はとばねず) 7版</p> <p> N-956 鳩羽鼠(はとばねず) 7版</p> <p> N-956 鳩羽鼠(はとばねず) 7版</p> <p> N-956 鳩羽鼠(はとばねず) 7版</p> <p> N-956 鳩羽鼠(はとばねず) 7版</p> <p> N-956 鳩羽鼠(はとばねず) 7版</p> <p> N-956 鳩羽鼠(はとばねず) 7版</p> <p> N-956 鳩羽鼠(はとばねず) 7版</p>

現在の夜間景観

本橋における現在の夜間景観は、下写真に示すとおりで、黄色みがかかった照明により、橋本体の本来の色彩は認識できず、全体に茶色がかかったような色彩として認識されます。



正面から見た本橋の
夜間景観



本橋の歩道上からの
夜間景観



薄暮の時間帯におけ
る本橋の姿

夜間照明下での色見本の見え方

本橋の照明下での色見本の見え方は以下に示すとおりで、夜間においては、本来の色彩の違いは認識しにくく、どれも同じように見えます。よって、本橋の色彩決定においては、夜間の見え方への配慮は必要とせず、昼間の見え方を重視することが必要であると言えます。

第1案	第2案	第3案